

PTAを母体とした 「学校応援団の仕組み」

をつくりませんか！

- 学校応援団はあってもその仕組みがなければ、いつかは〔ボランティアの高齢化問題〕など、校長先生が思い悩むこととなります。その対策も学校がしなければなりません。このような仕組みがあれば、PTA役員の皆さんで検討して解決していくこととなります。学校は相談役です。
- PTAの皆さんが学校応援団活動を経験されると、その中には、子どもが卒業されても活動に残っていただける方が出てきます。地域ボランティアがこのように育っていきます。
(ある学校の例)
月曜日の朝、教室の花生けをしていただけるグループの皆さんは、全て卒業生の保護者です。おやじの会のメンバーには旧保護者が何人もおられます。おやじの会で青パトを引き受けてもらいましたが、毎日登校時のパトロールをするのは旧保護者です。
- 「学校応援団の仕組み」を作るには“校長先生の〔地域に開かれた学校づくり〕を熱く語るほどの熱意”が必要です。ぜひその熱意で、学校やPTA、地域の人々を動かしてください。

学校応援団の仕組み作りの手順

- ① 学校とPTAは“子どもたちのために”ということで利益を共有しています。学校がPTAに「学校応援団組織を作りたい！」と相談されるときっと「やりましょう」と言ってもらえます。
- ② 学校にとって、最も身近な地域の協力団体がPTAです。PTAに相談することが〔地域に学校を開く〕第一歩です。
- ③ 校長先生から、校内の先生方、PTA、地域の皆さんに〔地域に学校を開くことが、子どもたちに必要！〕を熱く語ってください。
「“地域の子ども”は“地域”で育てる。」という言葉がよく使われます。
- ④ 学校応援団は、色々なことを考えて作り上げていかなければなりません。まず学校応援団実施協議会を設立して、みんなで考える場を作りましょう。
- ⑤ 学校応援団実施協議会を頭にして、その下に現在ある地域からの支援を位置づけてください。別紙に案を示していますので、参考にして新設なども検討してください。
- ⑥ ぜひ、設置してほしい支援が〔傾聴ボランティア〕です。授業の発表の場

面で発表を聞いてもらうボランティアです。

これは“誰にもできるボランティア”という点で素晴らしいものです。学校の学級別・学年別・全学校での発表の場を洗い出して、そこに招いて発表を聞いてもらうだけのボランティアです。何度か足を運ぶうちに、学校の敷居も低くなるのではないのでしょうか。

- ⑦ 何を支援してもらうか、先生方も悩むところです。まず、傾聴ボランティアから始めることは、それをじっくり考える機会にもなります。支援してもらうことの良さを感じることで、良い支援のアイデアも生まれてきます。
- ⑧ 学校応援団実施協議会の構成員で何でも話し合ってください。コーディネーターひとりに任せてはいけません。構成員のネットワークが地域に広がり多くの地域の皆さんと繋がることになります。PTAの皆さんが地域との窓を広げます。毎月のPTA役員会で学校応援団を議題にしてください。
- ⑨ 仕組みができて、PTAの体制が出来るまでは、学校が支援の段取り全てをしてください。大変ですが始めるときが肝心です。PTAの皆さんの体制が出来てきたところで、少しずつPTAの方に移行して行ってください。
- ⑩ このようにPTA活動として学校応援団に関わると、児童生徒が卒業しても学校支援者として残ってもらえる方がでてきます。ボランティアとして子どもたちと関わることの“良さ”を実感された皆さんです。この方々が“地域の支援者”の始まりです。

小学校応援団の仕組みをPTAを母体としてつくる例

〇〇っ子育成会(〇〇小学校応援団)

- 4月『〇〇っ子育成会』昨年度の反省から本年度の支援方針を協議決定する。
『PTA 総会』本年度の支援方針を周知して協力を呼びかける。
(できればその場で誘い合って登録)
保護者・地域住民への支援ボランティアの募集・支援ボランティアの登録
- 5月登下校見守り隊を招いて対面式をする。(ボランティアの紹介とお礼)
ボランティア活用スタート
- 各月『PTA 役員会』学校支援について、学校の意見を聞いて対策を協議する。
1月支援ボランティアの方々を招いて、児童からの感謝の会をする。
2月『〇〇っ子育成会』反省会(来年度に向けて課題解決案検討)

※学校応援団としての「〇〇っ子育成会」

- ・ 学校の外郭団体として位置づける。
- ・ PTAを母体とした学校応援団の組織例を示す。

案) 会長 PTA会長
副会長 PTA副会長
委員 各支援代表者
委員 コーディネーター
委員 他のPTA役員
会計 PTA会計
顧問 学校関係者
(校長・教頭・教務主任・学校応援団担当者)

学習・体験活動支援

低学年放課後教室支援

- △曜日放課後1・2年生対象
プリント学習の〇付けや宿題の見守りをする。
遊びやゲーム、工作、栽培などをして楽しむ。

授業支援

- 傾聴ボランティアや学習補助
予め登録した保護者や地域住民を学校が募集する。コーディネーターが集まり具合を確かめて、不足する場合に捜す。
- 調理・裁縫・ミシン・書道・英会話・パソコン・栽培・芸能などの指導者
- 教科・道徳・特別活動などの特別ゲスト
- 校外学習の指導者

環境支援

- 通常のPTA草刈り
- 庭木の剪定
- 花壇の手入れ
- 臨時の草刈りにも対応
- 校内の生け花
- その他

読み聞かせ

学校行事支援

- 運動会 ○学習発表会
- 学校行事の準備・練習指導
- 遠足・修学旅行の付き添い
- その他

登下校見守り支援

登下校見守り隊(老人会)

- 登下校の見守り・交通指導
- 5月 全校児童との対面式
「よろしくおねがいます。」
- 2月 反省会

日程が変わった時対応できるシステム

青パト隊

- 登下校中のパトロール
- 危険箇所のパトロール
- 情報交換会

